

**3月21日 JDS 徳島県支部の啓発活動****みんなで楽しんだ 徳島駅前での啓発活動～記念パレード～お花見**

晴天に恵まれた3月21日（月・休）、午前10時に23家族、57名が徳島駅前に集合。「もっと、知ってダウン症のある人たちのことを」のプラカードを持ち、チラシとリーフレットを配りました。本人たちも、「おねがいしま～す！」と声を張り上げ、通行する人に手渡して満足げです。

約1時間で用意していたチラシ700部、リーフレット500部の配布はすべて終了。その後は駅前から商店街を1.5km、プラカードを先頭にパレードして道行く人にアピールし、楽しく啓発活動を終了しました。

徳島県支部ができた50年前なら、幼児も含めてパレードすることなど考えられませんでした。今回、みんなが笑顔で街中に練り出して一般の方の中に溶け込める様子に、

「障害者に対する理解が随分高まった」と感じるのは高齢者故でしょうか。

パレード終了後はみんなで、まだ肌寒く桜はほとんど咲いていなかった徳島城公園で、少し早目のお花見。楽しくお弁当を頂き、一連の行事を終了しました。

**【徳島県支部 支部長：白石 光生】**



プラカードを持ち徳島駅から1.5kmを約60名でパレード

**3月21日 JDS 富山支部のショッピングセンターでの啓発活動****富山県内3カ所のSCで2,700セットの資料配布と募金活動**

JDS富山支部では、昨年に引き続き県内のショッピングセンターで啓発活動を行いました。今年は1カ所増やして3カ所で実施。参加者は、本人19名を含む52名でした。入り口で本人たちがノボリを持ち、行き交う人に大きな声で呼びかけます。最初はやや恥ずかしそうだったものの、活動が終わる頃には自ら進んでお客様に近づいて行ったりしていました。

配布物は、支部チラシとJDSリーフレットのほか、富山の薬売りが昔からお土産に使っていた紙風船や、公的機関や支援してくださっている企業から提供していただいた様々なグッズ類。事前にスタッフが透明なA5サイズの封筒に入れておいたものです。頂いたグッズの数はまちまち。3,000近

いセットを準備するのが大変だったんです！でも、買い物客に手渡すと、みなさん、笑顔で快く受け取ってくださいます。いったん店内に入ろうとしても戻ってこられ、腰をかがめて本人が持つ箱に募金を差し出してくださる方も大勢いて、感激しました。

**【富山支部(つなGO)事務局長：上原 恵】**



県社協の「ハーティちゃん」も参加したアビタ魚津店で

関連事業については「世界ダウン症の公式サイト」をご覧ください

JDSホームページのトップ「世界ダウン症の公式サイト」↓2016年のイベント